



▶今月の表紙◀
～佐原水郷の美へら～
photo & layout : 本誌・里

へら鮒 11月号

Nov.2007 No.503

http://www.herabuna.jp

Autumn special.1

小池忠教スペシャル

秋の両ダンゴ
パーフェクトバイブル

12

Autumn special.2

マルキュー「チョーチン王座決定戦」スペシャル

斉藤心也 炎のチョーチン12番対決!!

23

《第11戦》vs戸井田祐一 in 野田幸手園

杉山達也のSUPER SPLASH!

33

《ROUND.21》野田幸手園 秋の最強種目、チョーチン!!

マルキュー「チョーチン王座決定戦」 野田幸手園

38

- 42 石井旭舟 へらぶな浪漫街道
《第五十八回》群馬県・神流湖
- 49 中澤岳 フィールド真っ向勝負
《Vol.22》プレーキング理論in羽生吉沼
- 54 NEO-HERA Pro League 2007 第四戦(亀山湖)
- 58,82 早川浩雄「鉄壁・早川スタイル」
《第4回》盛期の三名湖、チョーチン両ダンゴ
- ★AREA REPORT
61,66 金山湖へら鮒センター(群馬県) 本誌・伊藤洋一
62,68 滝波ダム(福井県) 山本一朗
63,69 勝賀大池(岐阜県) 後藤 誠
64,70,71 甲南へらの池(滋賀県)、頼田公園の池(福岡県) 前田誠志、河口正伸
- 134 竹とともに生きる。
《第47回》「和彦」 田中和彦さん
- 138 岡田清 Deep Side Angle
《Vol.45》【シマノJ関東A大会in清遊湖】
- 144 田辺哲男 MYへら道
《へら道その九》一人で釣りたい! 神崎天の川公園他

- 148 戸張 誠 関へら戦記2007
【9月例会:三島・豊英湖 “不安”】
- 152 稻毛利夫 崖っぷち釣行!
《第10回》師匠、余裕のオデコ釣行!? 唐沢山公園の池(栃木県佐野市)ほか
- 156 吉川ひとみのあっち こっち そっち♡ 激闘編
《Vol.18》ひとピー、「横利根川へら鮒釣り大会」で大型賞ゲット!?
- 160 私の宝物
《Treasure.18》ゲスト:増田伸一さん
- 193 棚網 久の我流
《第二十回》「高水温が続く、秋の底釣り!!」 フィッシングエリア吉羽園/亀山湖
- 201 釣り味
《第10回》イタリア料理店i.s.m(イズム)の【スペイン産イベリコ豚の炭火焼き&フレッシュフォアグラのソテー パルサミソース】
- 202 北川穂積 西の交友録
《第二十二回》ゲスト:野尻義則 釣り場:沢田池&芦田川(広島県)&杉谷池(岡山県)
- 206 釣果予想クイズ
- 208 フィッシングレディ
《今月のレディ》今井麻美さん 羽生吉沼

釣り場割引 クーポン券

p.163~

- 野田幸手園 椎の木湖
- 清遊湖 谷和原大沼
- 上尾園 F.A吉羽園
- 谷養魚場 将監
- 柳生F.P 筑波白水湖
- 泉堰 逆井HC
- 友部湯崎湖 三和新池
- 川越FC
- 鳥羽井沼 大上へら池
- 霧の沼 小川つり堀園
- 清川つくしFC
- 千代田湖・舟宿 千和
- 相模湖・釣舟 五宝亭
- 相模湖・釣舟 天狗岩
- 吉森HC
- 甲南へらの池 当麻池
- 水藻FC 朝日池
- 釣り堀八十八
- 精進湖・釣舟 金風荘
- 西湖・釣舟 白根
- 西湖・釣舟 丸美
- 西湖・釣舟 青木ヶ原
- 府中HC

- 75 へら鮒釣り 超基本講座
《第32回》ベレ底実釣編
- 86 ガチンコ道場
《第23回》秋のメジャートーナメント開催!!
- 92 都祭義晃 カリスマ伝説2007
《Vol.23》NEO-HERAのリベンジで亀山湖
- 99 江成公隆のトーナメント、復活への道。
《Vol.65》必然。
- 106 夢追釣人(ゆめおうち) 天野正由
今月の夢・台風一過の50上!?! 奥多摩湖&相模川
- 110 水辺のプラネタリウム 吉本亜土
《今月の星空》「薑葱牛栢菜」
- 114 へら鮒戦士養成所“鮒の穴” 漢タカハシ
《第五十話》新キャラ登場! 子猫のミーちゃん♡
- 119 へら鮒 三ヶに下ろす 西田高明
《第11回》「ムダの利益」

- 124 水と戯れ、風と遊ぶ ホワイト
《第11回》栈橋に…耳あり
- 126 野田幸手園新聞
- 161 ワクワク管理釣り場情報
- 170 小売店情報
- ★へら鮒BOX
175 里ちゃんの新米編集長雑記
176 情報発信基地
179 ボイス
186 ダン創業60周年記念釣り教室 第3回「名人塾」開催!!
187 コラム『日研だより』 日研広報部長・遠藤克己
188 コラム『上村流』 上村恭生
189 コラム『紀州“想いの竹”のものがたり』 中峯伸行
190 プレゼント発表
191 広告索引
192 編集後記

STAFF

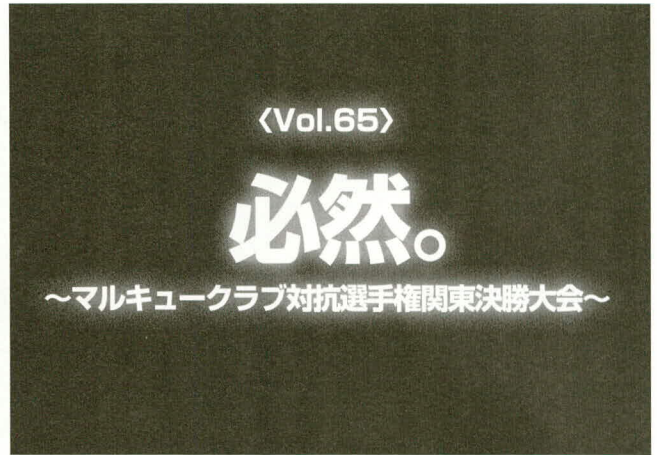
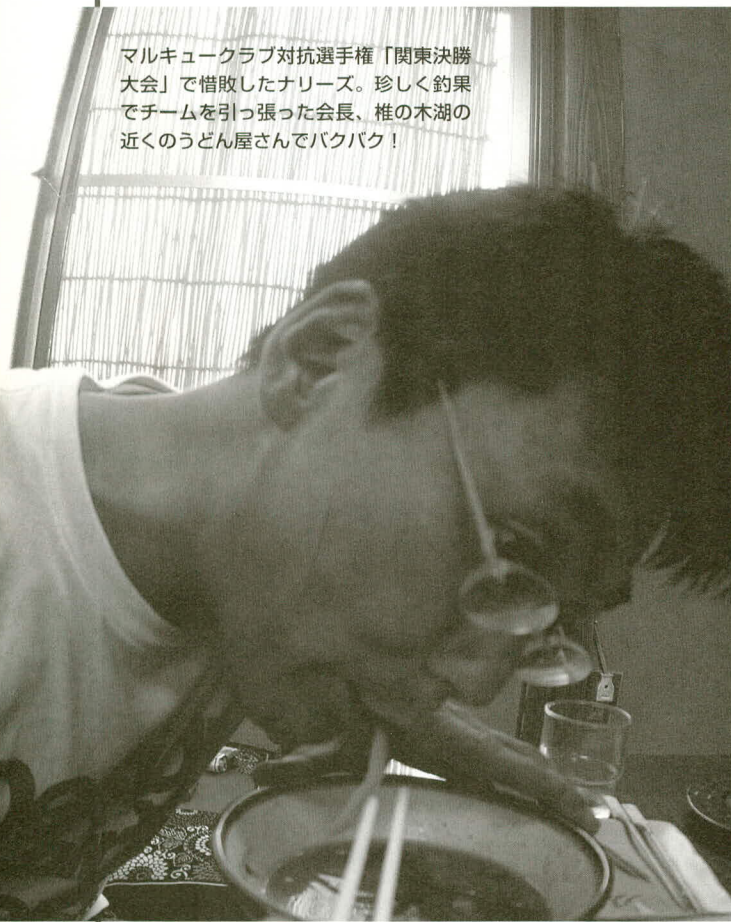
- 発行人
根本百合子
- 編集長
田中里史
- 編集部
大場勝良
諸富一秋
伊藤小百合
伊藤洋一
- へら鮒NET
根本大作
八十田昌広
- 企画
〈オフィス・えび〉
藤原 肇

この物語は、
栄光、そして挫折を味わい、
今、再び這い上がろうとする一人の男の人間ドラマである。

江成公隆の トーナメント、 復活への道。

text and photo by Kimitaka Enari and Satoshi Tanaka
業界初、Web運動企画！ (URL) <http://hoaryakohamotouraminet>

マルキュークラブ対抗選手権「関東決勝大会」で惜敗したナリーズ。珍しく釣果でチームを引っ張った会長、椎の木湖の近くのうどん屋さんでバクバク！



みなさん、残念でした…。

里、平山幹事長、そして江成で組んでクラブ対抗一次予選を突破した「ナリーズ」ですが、見事というか予想どおりというか、二次予選で散りました。よって、連載続行です(涙)。

それにしてもアニキ、少しずつ釣るようになってきたじゃないですか。くじけずがんばりましょっ！

あっそれから、今月からいつからかアニキの要望で追加されていた「一歩進んで二歩下がる!？」のキャッチを外させていただきやす。もう「下がって」いられませんぜ、アニキ！

by足引っ張った里ちゃん

ハズれる天気予報。

8月31日の天気予報では、翌9月1日は雨の心配はないことだった。怪しい感じはしたが、「晴れて気温が上がる」予報に対し、「晴れてほしい」希望は、疑う余地を与えなかった。しかし、あくまでも予報は予報。クラブ対抗二次予選(関東決勝大会)当日の9月1日、会場の椎の木湖は、あいにくの雨。しかも前日より気温が10度以上低い最悪のコンディションだった。

物事を何かにつけていいように考えるクセのある僕は、クラブ対抗二次予選の日も、これ以上ない紐付けを行っていた。9月1日は僕の誕生日。いまや歳を重ねたところで、嬉しくもなんともなくなってしまうが、「全国大会出場」というバースデープレゼントをもらうのは悪くない気分だろう、と。

競技開始寸前から降り出した雨は、想像以上の食い渋りを生み、選手達の体温とともに集中力も確実に削いだ。

「寒くて我慢出来ない。もうお家に帰りたい」ナリーズチーム3名は、僕を含めて全員が競技中に感じてしまったことを、反省会で告白しあった。

…これでは勝てる筈がない。

もちろん3名とも一生懸命戦ったし、終わってみれば、ひとりあたりあと2、3枚届かなかっただけという善戦ではあった。もっとも、椎の木湖でのクラブ対抗始まって以来の低釣果で終わった今回の二次予選では、その2、3枚がいかに難しかったとは言ってもなく、「たった」という受け止め方はお気楽すぎるのは百も承知。ただ、全国大会への切符を手にしたチームのほとんどが完全防備であったことを考えると、だれひとりカッパを持って来

なかった我々3名は、実力云々の前に競技者としての姿勢に問題があると言え、二次予選落ちという結果は必然だったと感じる(つーか、一次の湯崎が出来杉!)。

今回、僕はハリをがっつり結んで臨んだ。仲間の足を引っ張ることは許されない団体戦では、個人戦以上のプレッシャーがかかる。しかし、雨具は竿ケースに入りっぱなしのパラソルを除いて全く用意せず。里ちにいたっては、バッグにパラソルの万が入っていなかったというお粗末ぶり。

数年前、「伊藤洋一の常識」編だったと思うが、9月の三島湖の早朝、「半袖一枚で寒くて参った」と書いた記憶がある。その時たしか、「釣りはアウトドアスポーツである」と再認識した」というようなことも書いていた筈だが、全く活かされずに残念。理論で釣るのは勝手だが、野であれ管理であれ、地べらであれ放流モノであれ、へら釣りも「厳しい自然と対峙する」遊びのひとつであることを、お手軽な管理釣り場メインの一年間では、ともすると忘れてしまいがちである。



ナリーズ。競技者として姿勢に問題あり。

Photo by Katsuyoshi Ooba



湯崎湖でのクラ対一次予選通過後の一カ月間は、ものすごく楽しい時間だった。

全国大会出場が決まったかのようなワクワク感を、僕が十数年ぶりに味わえたのは、この釣りを通じて出会えた素晴らしい仲間達のおかげである。

「一人ではトーナメントとして復活出来ないため、他力本願で復活を自論むせこいやツ」

…という批判があるようだが、それは事実なので、じゃんじゃんやっていたらいい。

ここで問題なのは、「ワクワクで満足してしまっていた可能性」である。

これも以前書いているが、全国ファイナリストの常連は、「全国大会に出られて嬉しい」なんて微塵も感じていない。クールである。ましてや今回は、全国の前二次予選。こんなところで満足してしまっていたら、先はない。

…でも、でもね…

釣りはやっぱりレジャーでもあるわけで、一般人にとってトーナメントはハレの日。楽しんで興奮してドキドキして、競技に参加する人がいたっていい。それでメシ食ってわけじゃないんだし。で、間違っても全国大会出場なんてことになったら、前夜祭でベロンベロンに酔っぱらって、いい気分になって、そこで終わっちゃったっていい。もちろん僕ならゲロ吐きながらも頭を狙いに行くが、クールにキメても結局優勝出来なかったら、どこで楽しむの? もったいないじゃん、って…まあ、人それぞれ。

ここまで、「以前も書いたのに」x2。で結局、開き直って何の進歩もない。

「これがナリーズである」!?



僕はものもらい(麦粒腫)がクセになっっている。というより思春期以降から現在まで、アレルギー体質でデリケート?な僕は、出毛ノ腫れモノとは切っても切れない関係である。

さすがにチョコをたくさん食べても「ニキビはほとんど出なくなり、老化という現実を突きつけられて寂しさも覚える今日この頃だが、ものもらいはこの一年ほどがとくに酷い。悪化する・しないは別にすれば、毎月目の不快感を味わっていると一言しても過言ではない。

ウェブ上で検索してみると、黄色ブドウ球菌がまぶたの分泌腺に感染して起きる病気で、目の周りを不衛生にしていると起こるとある。確かに汗を拭くこともままならない日もあるし、外で過ごす時間が圧倒的に多い職場環境では、不衛生極まりないと言える。もともと黄色ブドウ球菌は健康な人の皮膚や体内にも常に存在している菌であり、抵抗力が弱まった時に牙を剥くという理解でいいようだ。ちなみに食中毒は黄色ブドウ球菌が増殖する過程で吐き出す毒素で起こり、院内感染の原因菌で有名になったMRSAは、メシチリン耐性を持った黄色ブドウ球菌。≒メシチリンの頭文字で、現在ではさらに多くの薬剤に耐性を持っているようである。

この一年間で、僕がブドウ球菌ちゃん、急速に仲が良くなったのは、間違いなく増えた仕事のおかげである。それがストレスだとは思わないが、睡眠不足が体力消耗に直結するのは否めない。寝ずの釣行も当たり前だし、行けば行ったで仕事よりも集中して釣りをする。昼飯を食う時間も惜しい。そりゃ体に悪いやね。

…この頃(ここまで、9月号原稿でカットさ

れた分のコピペである。締切までにいかに切迫した状況であるかがお察しいただけると思うが、実はその原稿執筆時点でのものもいろいろ、今なお完治していないのである。ある発毛促進剤のCMで、

「根っこが生きてりゃ大丈夫」

というのがあったが、僕のものもいろいろもささし。痛みや腫れが引いても、小さなシコリが残るようになってしまっており、ちょっと無理をするとすぐに腫れてくる。以前医者にかかった時は、切らなければ完治はないと言われたが、臆病者の僕は踏み切れないでいる。時間もなし。

9月号は7月16日に行われたナリーズ杯の記事で、ナリーズ杯終了直後（帰り道）にもものもらいが発症したという話から始まるはずだった。ナリーズ結成当日も、ものすごいヤツをサングラスで隠しての参加だったため、ものもらいで始まりものもらいで終わった一年ということになり、

「あ、ナリーズももう一周年かあ」

と、気づくシーンがあったのだ。が、写真が多い号に長い前フリは不要ということでパツサリとカットされた。で、今回ものもらいの話を書くことで、「一周年」という単語を引っ張り出し、僕の「店長就任後一年経過」という話にもっていく作戦。つまり、なんとこの項ごまで全て、事項への前フリ！長っ！…読者の皆様、お疲れさまでした。

【里ちゃん註：平山氏同様、江成も甘いもの大好き。特にチョコは毎日欠かせないそう。で、バレンタインのチョコは編集部まで！】



自分でもいつまでもつかと思っていたが、気づいたら店長になって一年が過ぎた。いろいろと書いたけど、やっぱり人を動かす難しさっていうのが、この一年で最も痛感したこと。口でアレコレ指示したってなかなか理解してもらえないものではなく、仕方がないので自ら実践して示す、なんてありきたりの方法論しか思い浮かばなかったけど、実際に「示せたのかどうか」は疑問が残る。異動後、前任の店長に対して僕が感じていたことは、

「楽しいやつてふざけんよー」

ということだったし、異動前の前職場での僕は、「ふざけんよ」の前に、全く聞かずに持たないトンデモ社員だった。現職場は前職場に比べれば、はるかにおとなしい社員ばかりで、僕も「牙を抜かれた」と評されるほど丸くなり、やりがいも見出して現在に至っているワケだが、それでも本音は「ふざけんよ」だったのである。

そんな僕が、いま指示を出す立場にいる。建屋の中には、僕よりエライ人はいない(笑)。であれば、嫌われ、陰口の標的にされるのは仕方がないことだし、それも仕事だと割り切っているが、出来れば心から理解され、部下として気持ちよく働いてもらえるような配慮をしたい。そう思って、作業指示以外の部分でもコミュニケーションを計るよう努力してきたつもりだ。「仕事に対する取り組み方」に関しても、かつて自分がそうであったように「時間の切り売り」でも構わないが、「売った時間の中では最大限力を発揮する義務はある」とか、「E」で「F」にせやるなら面白くなる工夫」とか、「やらされてばかりじゃつまらない。自分の役割は自分で見つける」とか、それぞれそ

数年前の自分にそのまんま投げてやりたいような言葉をよく部下にかけられる。不定期だがレジュメも発行するし、壁の標語系張り紙も大好き。部下から提案があればきちんと聞き、困っていればフォローもしているつもり。

しかし、あくまでも「つもり」。

某掲示板に書かれていたように、「大勘違い野郎」であるのはオンもオフも同じかも知れない。とはいえ、強い思い込みと大いなる勘違いこそが、時代をつき動かすエネルギーであることは、疑いようがないだろう。正しかったのか間違っていたのかは、歴史の評価を待つしかない。

責任のない(及ばない)立場で、どこまで自己犠牲の精神を発揮出来るか。与えられた仕事を完璧にこなすだけにとどまらず、どれだけプラスアルファ出来るか。これが、本来あってはならない「好き嫌い」を別にすれば、職場での人事評価に直結してくる重要ポイントだが、後者はやる気になれば誰でも出来る。前者が難しい。誰だって余計なことはいしたくない。僕だって、パンクしかけている部下の仕事を手伝うのは正直カッターイ。だがそこは、思いやり。相手の立場になって物事を考えてあげることが出来るかどうか。

「無知は責めませんが、無関心は罪です」

職場での最新の張り紙。一般的に、無知も無関心も罪だけど、何かが起きてしまった時に知らなかったものは仕方ない。もう手遅れ。それよりも、事件やその前兆に気づきながら知らんぷりしたり、問題だと意識しなかったりすることの方が重罪、という意味で掲げた。まさに勘違い野郎って感じだけれど、自戒の念も込めた「つもり」。

その立場になってみないと分からないこと、というのは本場に多い。僕は前店長の部下だった時の気持ちは忘れてきている。部下が僕を完全に理解することは無理だろうし、僕も

新作!! 慎重にテストを繰り返した底釣り専用タイプ。杉山作初的美丽なブラックボディで登場！

【底釣りスタイル】

杉山作

繊細な「底」を完全表現する専用タイプ。
●ボディは羽根2枚合わせ5.5mm径。精神な極薄ブラック塗装仕上げを採用
●ダイシン製ホイトトップ(内径1mm)採用。軽量かつ視認性大幅UP！
●サイズ：一番(T10cm B9cm カーボン足4.3cm)～六番(T17.5cm B16.5cm カーボン足4.7cm)
ワンサイズごとにバランスを突き詰めた設計で、スムーズなナジミと理想的な返しを実現！
●定価1本7,350円(税込)

取り扱い店(五十音順)
埼玉・越谷 かわせみ(☎048-969-5067) 茨城・下妻 こやの釣具(☎0296-44-1619) 東京・渋谷 サンスイ川釣り館(☎03-3499-5025)
埼玉・入間 へらの三水(☎042-964-2093) 栃木・益子 フィッシングハウスほそゆ(☎0285-72-2215) 神奈川・川崎 崎仙人(☎044-287-7470)
東京・吉祥寺 丸勝(☎0422-22-8923) 東京・青梅 吉川釣具店(☎0428-22-2467)

本部連中の考えていることは理解出来ない。世の中99・9%が凡人だからナ…。

それなりに凹みました。

9、10月号はちよつと吠え過ぎましたネ(笑)。

某掲示板について自分で煽っておきながら、本当に名指しで書き込まれると、たいしたこととは書かれていなくても、やっぱりカーッと耳が熱くなります。同じ匿名でも一対一のメールならあんまり気にしないんだけど、不特定多数の目に触れる場所で公開されるとなると、やっぱり、ね。気分のいいもんじゃありません。

某匿名掲示板は、僕は主にマックでお世話になった。特定機種専用のスレッドの存在は、改造派にとっては、いじった時点で当然メーカーサポート対象外になるので、貴重な情報源。ただし、書き込まれている内容を鵜呑みにしていいのかどうかは、あくまでも自己責任。受け取り手側は取捨選択を迫られる。書き込まれたリンクを辿ってみたら、実はエロサイトで高額請求される可能性もあるだろうし、ウィルスをつかまされる可能性だってある。言われた通りいじったら、修理不能になる可能性もある。それが悪意なのか自分の環境のせいなのかは分からないし、誰の責任でもない。

匿名掲示板上に、「真実は存在しない」。それが別の場所へ出れば事実であったとしても、匿名の掲示板に書き込まれた情報は、真実とは呼べない…苦なのだが、風評被害が起きれば、書き込んだ人間や運営者の責任が問われることもある。笑って読みとばせない人が、流布する側にも書かれた側にもいる証拠であり、残念ながら情報戦略上、匿名掲示板は有

効なんだという可能性を示している。

僕的には、ソースが匿名掲示板だなんて、大きな声で言える人の気が知れないけれど、すでに僕もしっかり「読んでます」って書いてちゃったし(笑)。「読んでます」って書いてら最後、「アイツ、絶対書き込んでるぜ!」って思われちゃうんだろうし(笑)。ちよつと戦略的に失敗したと後悔している「完全に策士なヤツ」です。

降って湧いたガマ。

梅雨でもないのに蛙。実は先日、ヒラリー幹事長から鼻息も荒く電話があった。「クラ対のリベンジはがまべアで決まりでしょうよー!」

クラ対以降、釣りに行っていなかった僕は、「祭の後の寂しさ」的なアンニュイに浸っていた。もちろん年内のイベントは、フレンドシップ、第三回ナリース杯と、二つも残っていたのだが、まだまだ先の話だと思っていた。そこへ、この話。

「がまかつチーム対抗戦 東日本大会」、である。場所は清遊湖だ。二人で組むので、通称「がまべア」。聞けば、錚々たるメンツが参戦するとかで、思わずビビる。しかし幹事長は例によってノリノリだ。

「その日の汚れ、その日のうちに!」って言うしさ。今月の屈辱は今月中に晴らすつきゃないでしようよー!」

というわけで、僕と幹事長はお揃いのポロシャツを着てタッグを組むことになった…のはいいんだけど、明日24日はもう本番。翌25日が原稿の締切であることを考えると、仕掛けやハリ結びの時間が残るか不安だ…。

結果は次号でこっそり報告したいと思っっている…。

リアクションバイト。

「サソイは深いテーマであり、いすれあらためて取り上げる」と、以前書いた。底釣りゼミだったかな? その、ほんのサワリの中では、どちらかというリアクションバイトを否定するニュアンスだったんだけど、今回のクラ対では、セッティングとかエサとか、そんなの完全に超越しちゃうんじゃないかっていうくらい、何目盛分とか、ウキ一本分とかそんな尺度じゃない、腕一本分くらい(笑)のクイックで乱暴なサソイに、好反応を示したので驚いた。向かい風でショートしたと思い、「なんだよもう!」って感じで、なぜやりにグイッとやった際に偶然発見したのだが、これはもう、リアクションバイト以外に説明がつけられないと思うわけで、考えをあらためなくてはならないと思います。

…サソイはやはり深い。

「あらためて」取り上げる必要がある。と、今回も先送りしちゃう♡

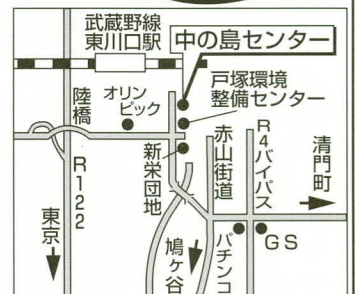
【里ちゃん註】先送り&「以前書いた」は、江成の得意技である。ちなみに今月の原稿ここまで、「以前書いた」は、すでに三回も出ています。というか、釣りのハナシ、こんだけえろって感じ(怒)】

赤いリボン賞 2,500円

営業時間 (10月~3月) 平日 午前7時~午後4時 日・祝日 午前6時30分~午後4時
 (4月~9月) 平日 午前6時30分~午後4時30分 日・祝日 午前6時~午後4時30分
定休日 毎週火曜日(祭日の場合 翌日休業)※第4火曜日と水曜日は連休
料金 1日/2,500円 半日/2,000円

規定 自由釣り池(2面)は、タナはウキ止めからオモリまで1m以上 **使用竿** 竿8~15尺 **水深** 3.5m

※ジャンボ室内鯉釣り、金魚釣りも楽しめます。



有限会社 堀 中の島センター
 埼玉県川口市藤兵衛新田254 ☎048-295-5194 (夜間296-7654)

先月号で紹介した田辺哲男氏の公式ブログに、なんとナリーズ杯の記事が掲載されてしまった!

ナリーズ杯は、すでに二カ月前の出来事であり、全く期待もしていなかった僕は、見て腰を抜かしてしまった。加賀三義氏は間違いなくアワ吹いて気絶したハズ:いや、直前のエントリで、加賀氏が紹介してくれての流れかもしれない。ありがとう加賀さん! なんだかんだ言ったって、加賀さんも明日からナリーズ会員ですネ。

そしてもちろん、田辺さんありがとうございました! 皆さんも是非、アクセスしてみてください!!

<http://tanabefun.com/blog/>

※右記コピ入力力がメンドい方は、検索窓に、「ナリーズ ナリーズ杯」でトップに表示されます。ってどっちがメンドいやろ…。

釣番付

料金表

50名まで	55,000円
51名~75名	60,000円
76名~100名	65,000円
101名~125名	70,000円
126名~150名	75,000円
151名~175名	80,000円
176名~200名	85,000円

- ・仕上がりは黒一色です
- ・人数は成績表部分のみ数えます

書体見本

- 1.ぐりへの鮎会
- 2.ぐりへの鮎会
- 3.ぐりへら鮎会

- ・番付をインターネットで公開できます(無料)

お問い合わせご注文はお早めに!

取扱店: 柴舟 03-3613-2727

ウキや小物の銘入れに
転写シール

初回注文黒一色、300銘で8,500円~
2回目以降同じものをご注文の場合は3,500円~

- ・8書体、8色を御用意しています
- ・角印も作れます

取扱店:

柴舟(東京都江戸川区)
03-3613-2727

佐伯釣具店(神奈川県川崎市)
044-911-3722

SANSUI川づり館(東京都渋谷区)
03-3499-5025

フィッシング中原(神奈川県川崎市)
044-711-8266

鮎仙人(神奈川県川崎市)
044-287-7470

お問い合わせ、ご注文は各取扱店
または下記HPまでどうぞ

office27
あとりえぐり

<http://www.office27.com>
E-mail:info@office27.com

「第三回ナリーズ杯」 参加者募集中!

(今月はより詳細にお伝え致します!)

- 日時 11月23日 勤労感謝の日(祭日/金曜日/大安)
- 会場 千葉県 富里乃堰
- 参加費 3000円(釣り代金コミ)+100円以上の賞品一点+罰金用小銭 ※当日いらっしゃった女性陣で最高釣果の方に負けた男性の方は罰金あり! 昼食は各自ご用意願います(富里乃堰でお弁当注文可能です)。
- 競技方法 総重量
- 競技規定 竿8から21尺 オモリからウキ止めまで1m 生エサ、オカメ禁止
- スケジュール
 - 5:30 集合 受付開始
 - 6:30 入場
 - 6:50 競技開始(昼休みは各自任意で)
 - 14:30 競技終了 検量開始
 - 15:00 検量終了
 - 15:30 表彰式
- 賞品
 - 優勝賞金 (ちなみに第二回は〇△円でした)
 - 飛び賞、抽選あり(参加選手持ち寄り!)

上記以外の細かな規定等は、当日発表致します。今回も「楽しく釣る」ってことがメインテーマです! あんまり難しく考えずに、ぜひぜひご参加を! 「へら鮎社内 第三回ナリーズ杯係」まで、ハガキにて応募して下さい。お名前と連絡先もお忘れなく。番付に名前が載りますので、フルネームでお願い致します!

へら鮎釣りの楽しさを追究し続ける...

No.503
Nov.2007

11

九隻
信

Monthly fishing magazine herabuna

麗しき、秋のへら鮎と対峙する。

Autumn special.1 小池忠教スペシャル “秋の両ダンゴパーフェクトバトル”

Autumn special.2 ナルキュー「チヨーチン王座決定戦」スペシャル

平成19年11月1日発行 (毎月11日発行) 第4巻 第11号 2007年10月4日 三井物産出版

昭和41年5月4日第3種郵便物認可
平成19年11月1日発行
第42巻第11号(毎月1回1日発行)

二〇〇七年秋 戦闘開始。



此一番を制する!
セット釣り専用バラケエサ

POWER・X
パワニー・X

定価 一〇〇〇円
本体九五二円

丸マルキユー株式会社
〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀2-4

お問い合わせ 本社・桶川工場:048-728-0909 大阪支店:072-824-0909
四国営業所:0877-44-0909 九州営業所:0942-82-0909
ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>

釣り場でエサに困ったら
Eメール・ホームページ
<http://www.marukyu.com/j>

雑誌 07907-11



4910079071176
00952